

様式(細則 5-2)

平成 年 月 日

浜田市議会議長 牛尾博美様

議員名

新田 裕子 (印)

## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

### 記

1. 期 間 平成22年10月20日 ~ 10月20日

2. 視察又は訪問先

千葉県銚子市、流山市

3. 調査経費

54,748 円

4. 調査研究活動の概要

別紙



平成23年3月17日

浜田市議会議長 牛尾博美 様

## 会派視察研修報告書

遅くなりましたが下記のとおり視察を行ないましたので、その結果を報告いたします。

### 記

- 1、期 間 平成22年10月20日～22日
- 2、視察先 千葉県銚子市・流山市
- 3、参加者 江角敏和・三浦一雄・新田勝己・芦谷英夫・三浦美穂・佐々木豊治  
西村 健・笹田 卓

#### 4、研修の概要

##### 【銚子市】

- (1)市立病院の再生事業について
- (2)現地視察
  - ・老人憩いの家・地域福祉センター（こも浦荘）
  - ・銚子マリーナ

##### ◎市立病院の再生事業について

銚子市の市立病院には、平成20年11月20日に社会クラブとして視察研修をした。当時は、「銚子市立総合病院休止の経過について」説明を受けた。

今回は、市立病院の再生についての視察である。  
全国的な医師不足の中で病院が閉鎖に追い込まれ、厳しい中で再建されたものである。浜田市にとって、又市民生活の中で不可欠のものであり参考になることが多々ある。

##### \*銚子市立総合病院休止の経過\*

#### 1、病院の概要

- (1)開設年月日 昭和26年9月
- (2)病床数 393床（一般200床、療養23床、結核20床、精神150床）
- (3)診療科 16科

#### 2、これまでの運営状況

##### (1)常勤医師数の推移

平成16年36人→19年22人→20年12人

- ・日本大学から医師の派遣を受けてきた。平成18年特別職の給与減額改正により病院長も月額93,000円引き下げる。

- ・平成19年日本大学はAランクからBランクに変更
- ・病院休止直前の平成20年7月1日には、内科医師1人、外科医師1人となり救急患者の受け入れも入院患者の対応も出来なくなった。

#### (2)患者数と収益の推移

- ・平成15年度～19年度
 

入院患者	45%の減
外来患者	39%の減
収益減収	約17億円

#### (3)経営状況の推移

昭和59年度から平成19年度までに繰り出し総額約214億4千万円

#### (4)人件費の削減

### 3、一旦休止へ

- ・病院休止反対署名約46、000人分が提出
- ・市長リコールで解職
- ・病院再開市長当選

### 4、病院再開後の現状

- ・医師数 常勤：2人 非常勤：5人

## 《視察で学んだ事》

地方の病院経営には医師不足や国による診療報酬の引き下げ等、困難がある。病院が赤字になると経営努力で安易に人件費の削減にはいってしまい、医師の労働条件の引き下げは、不足する医師全体からは、引き留める力にはならない。働く環境の整備の必要性を感じた。

院長の手当削減は派遣する大学との軋轢を生み、医師全体にやる気の減退に繋がり医師の引き上げとなった。

医師のいない病院は、患者の減に通じ経営そのものを出来なくする負の連鎖になる。

市民はこの大赤字の市民病院であっても廃止反対の署名や、市長リコールに取り組み結果として病院再開の結論に至ったのである。

市の財政破綻と市民の意見尊重を目の当たりにしたとき、私ならどうするかと真剣に考えさせられた。浜田医療センターの経営安定に努力する必要性を強く感じた。

### \*現地視察\*

#### (1)銚子マリーナ

太平洋に面したマリーナに大型クルーザをはじめ広大な施設に係留されていた。浜田もクルーザは沢山あるが、外の浦や長浜の県営貯木場を整備し充当の必要性を感じた。その時、高額に係留費を払ってまで利用者がいるのか研究の余地はある。

### 【流山市】

#### 視察事項

#### (1)多機能携帯電話（スマートフォン）導入について

多機能携帯電話を使って採決を実施した。又、議員ごとの賛否を公開した。  
流山市議会は議会改革をすすめ、採決の公開や議会報告会を実施している。  
浜田市議会も議会改革に取り組んでいる。採決の公開、議会報告会等も今後の課題  
である。今回の視察が参考になる。

以上

報告 新田勝己